

小杉放菴記念日光美術館において、2017(平成29)年度に開催される展覧会の予定です。

4月1日～7日 展示替休館

2017(平成29)年4月8日[土]～6月25日[日]

毎週月曜日休館(4月17日は特別開館)

開館20周年記念 小杉放菴 コレクション名品撰

◆開館以来20年間にわたり収集してきた小杉放菴作品の数々から厳選した逸品を、当館コレクションの原点である小杉放菴の寫生画コレクションとあわせてご紹介いたします。また、滋賀県・摺見寺からご寄託いただいている襖絵のうち、名品と名高い《閑庭春禽》《山行》《石上》を公開いたします。

6月26日～7月14日 施設メンテナンス休館

2017(平成29)年7月15日[土]～9月10日[日]

毎週月曜日休館(祝日のときは開館し、その翌日を休館)

開館20周年記念 絵本の系譜Ⅳ 安野光雅 ふしぎな絵本の世界展

◆美術作品としての絵本の魅力を紹介するシリーズ、待望の第4弾として、画家・安野光雅氏による柔らかな色彩と細やかな描写によって紡がれた、美しくてふしぎな世界をご紹介します。数学雑誌『数理科学』の表紙絵「空想工房の絵本」をはじめ、『しぜんのかに』表紙絵「おたより」のほか、美しい風景を旅する『旅の絵本』や『おおきなもののすきなおうさま』などの原画約90点を展示いたします。

9月11日～15日 展示替休館

2017(平成29)年9月16日[土]～11月5日[日]

毎週月曜日休館(祝日のときは開館し、その翌日を休館)

開館20周年記念 入江観 故郷—日光を描く

◆入江観氏(春陽会会員、女子美術大学名誉教授)は、1935(昭和10)年に日光に生まれ、現在も画壇の第一線で活躍する洋画家です。2004年に当館で開催した「蒼天の画家 入江観の世界」展以来、13年ぶりとなる本展では、故郷・日光の山々を描いた油彩画を中心に、近年の画業をご紹介します。

11月6日～10日 展示替休館

2017(平成29)年11月11日[土]～12月24日[日]

毎週月曜日休館

開館20周年記念 没後111年 五百城文哉「高山植物写生図」の世界

◆五百城文哉は、小杉放菴の師であると共に、洋画の黎明期でもあった明治美術を代表する画家の一人として知られています。本展では、五百城の作品のなかでも人気の高い《高山植物写生図》シリーズ(個人蔵)を9年ぶりに日光の地で公開するとともに、この20年間に当館が収集してきた五百城の全作品を、寄託作品および史料、そして県内美術館コレクションとあわせ、一堂に展示いたします。

12月25日～12月31日 展示替休館/年末休館

2018(平成30)年1月1日[月・祝]～2月12日[月・祝]

毎週月曜日休館(祝日のときは開館し、その翌日を休館)

コレクションの20年Ⅰ 風景画いろいろ

年始休館 1月4日[木]～6日[土]

◆小杉放菴と並ぶ、当館の重要なコレクションである「日光の社寺を描いた水彩画」コレクションと、2012年度に寄贈された国立公園絵画コレクション。この2つのコレクションを中心に、小杉放菴、河久保正名、梅原龍三郎、小磯良平ら総勢40名以上の画家たちによる、日光から日本全国にわたる風景画の諸相をご覧ください。

2月13日～16日 展示替休館

2018(平成30)年2月17日[土]～4月1日[日]

毎週月曜日休館

コレクションの20年Ⅱ 1950年代から現代へ

◆当館はこれまで小杉放菴以外の作品、それも戦後から現代にかけて活躍した画家の作品も数多くコレクションしてきました。本展では、秋山俊也、小野崎草樹、古橋義朗ら日光市ゆかりの画家から、菊地武彦、二木直巳、間島秀徳ら現代のアート・シーンを代表する画家の作品まで、1950年代から現代にかけて描かれた彼らの作品を、同時代の小杉放菴作品とあわせてご紹介いたします。